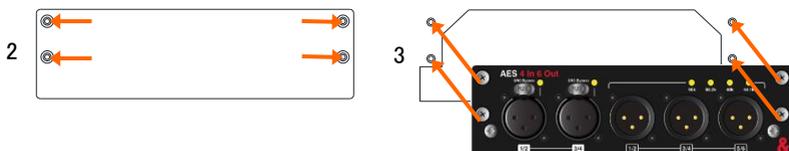


## M-DL-AES オプションカード

M-DL-AES100、M-DL-AES2I80、M-DL-AES4I60、M-DL-AES6I40は、Allen&HeathのdLive I/Oポートに取り付けることができます。これらは、他のオーディオ機器へのデジタルAES3 (AES/EBU) インターフェイスを提供します。

### フィットイング

1. システムの電源を切ります。
2. dLiveミックスラックまたはサーフェイスのI/Oポートブランクパネルを固定している4本のネジを外します。
3. カードをスロットに差し込み、コネクタにしっかりと押し込みます。
4. 4本のネジを取り付けてカードを固定します。



### クロックとシグナルパッチ設定

dLive I/O 画面を使用して、I/Oポートとシグナルをパッチします。

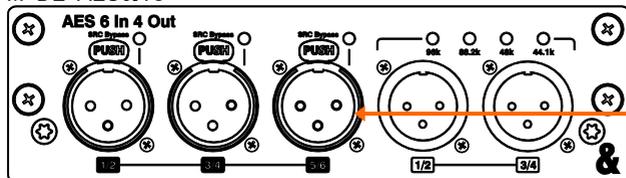
**MixRack / Audio / I/O Port** または **Surface / Audio / I/O Port** 画面を使用し、必要に応じて、AESカードのサンプルレートオプションにアクセスします。AES3入力 of the sample rate conversion is turned off and replaced, and the sample rate of the AES3 output can be selected.

- ① AESソースとdLiveが同じ96kHzクロックを共有している場合にのみ、SRCをオフにしてください。**MixRack / Audio / Audio Sync**画面を使用して、AESカードの最初のAES入力からdLiveを同期させることができます。また、機器によっては、dLive BNCワードクロックからAESソースを同期できる場合もあります。
- ① dLiveのセットアップと機能の詳細については、[www.allen-heath.com](http://www.allen-heath.com)からダウンロード可能な「dLiveファームウェアリファレンスガイド」を参照してください。
- ① M-DL-AESには、dLiveファームウェアV1.5以降が必要です。



## フロントパネル

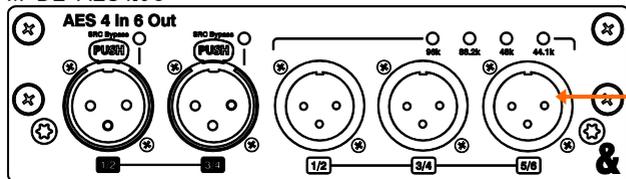
### M-DL-AES6I40



#### AES3 Inputs

XLRのステレオデジタル  
入力とSRCバイパスの  
ステータスLED。

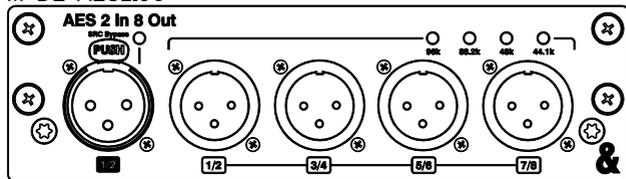
### M-DL-AES4I60



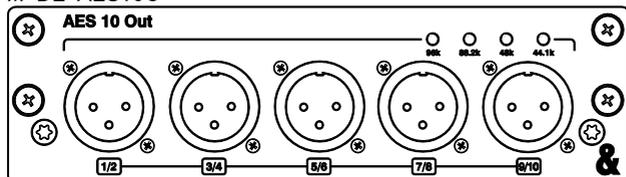
#### AES3 Outputs

XLRのステレオデジタル  
出力。カードの出力は  
44.1、48、88.2、96 kHzの  
いずれかに設定可能。

### M-DL-AES2I80



### M-DL-AES100



この製品には、一年間のメーカー保証が適用されます。  
保証の条件については、[www.allen-heath.com/legal](http://www.allen-heath.com/legal) を参照してください。



This product complies with the European Electromagnetic  
Compatibility directive 2014/30/EU and the European Low Voltage  
directive 2014/35/EU.

Copyright © 2017 Allen & Heath. All rights reserved.

# ALLEN&HEATH

Allen & Heath Limited, Kernick Industrial Estate, Penryn, Cornwall, TR10 9LU, UK

<http://www.allen-heath.com>

*ArtWiz*  
<https://artwiz.jp>

株式会社アートウィズ

本社:〒162-0041 東京都新宿区早稲田弦巻町511 Tel:03-3202-2330 / Fax:03-3202-2331  
山梨営業所:〒409-3845 山梨県中央市山之神流通団地3-3-4 Tel:055-274-4004 / Fax:055-274-4005